

ワンポイント講座

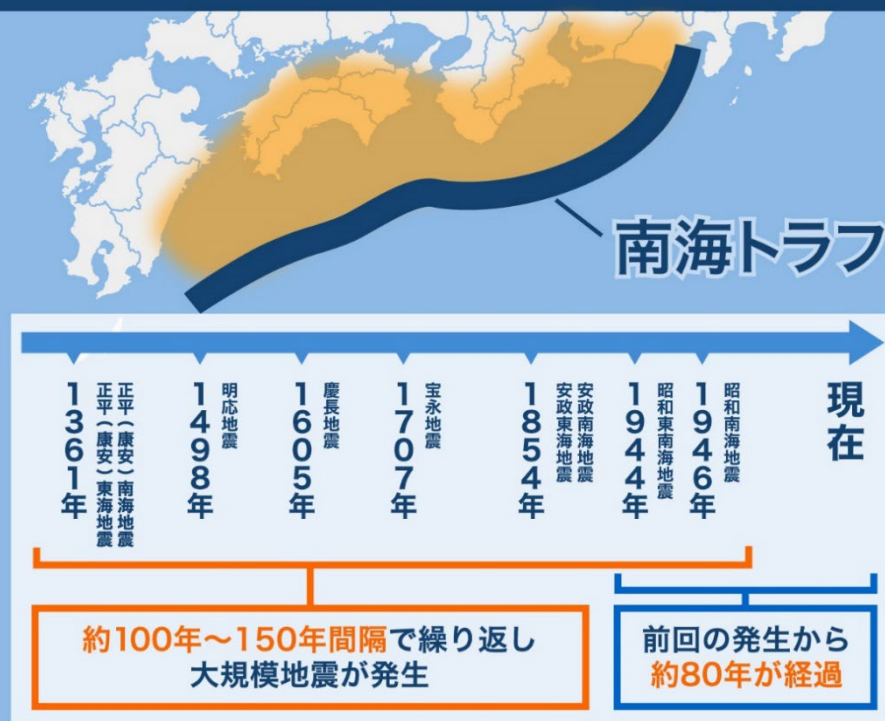
南海トラフ地震臨時情報

令和8年9月18日
福岡管区気象台
地震火山課

過去に南海トラフで発生した地震

- 南海トラフ地震とは、駿河湾から日向灘沖までのプレート境界を震源とする大規模地震（概ね100～150年間隔で発生）
- 前回の地震発生（1946年）から約80年が経過し、次の地震発生の切迫性が指摘。
- 過去には想定震源域のほぼ全域で同時に地震が発生したことがあるほか、東側半分の領域で大規模地震が発生し時間差をもって残り半分の領域でも大規模地震が発生した事例もある。

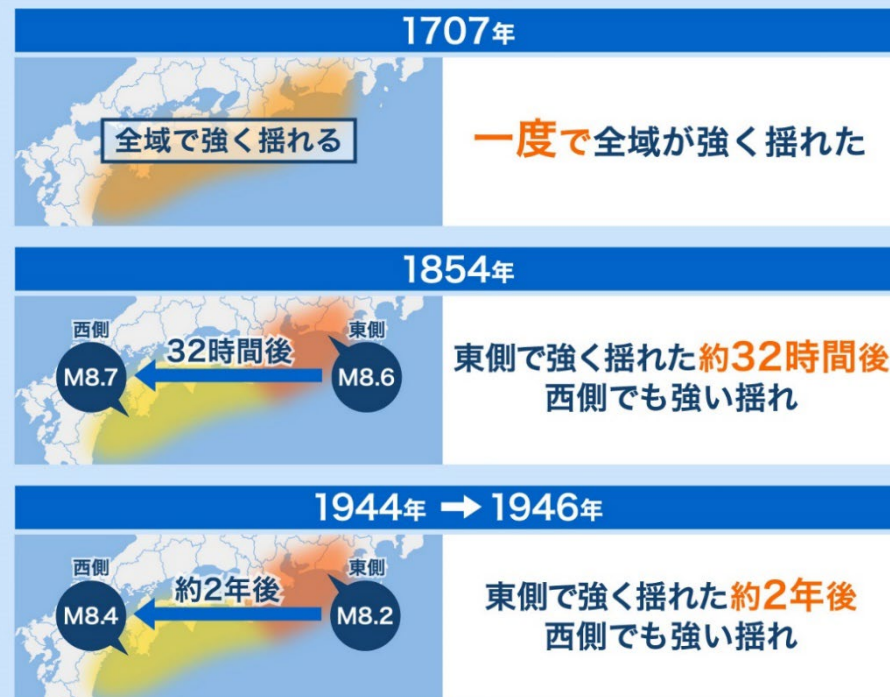
南海トラフ地震 歴史と特徴（14世紀以降）



監修：内閣府（防災担当）、気象庁

Yahoo!ニュース
オリジナル

過去の南海トラフ地震 揺れ方の特徴



監修：内閣府（防災担当）、気象庁

Yahoo!ニュース
オリジナル

- 「南海トラフ地震臨時情報」は、次の地震の発生を予測（予知）する情報ではなく、大規模地震が発生する可能性が平常時と比べて相対的に高くなっていることを伝える情報。

■ 情報発表の条件

<巨大地震警戒>

半割れケース

想定震源域内（右図）のプレート境界において、**Mw8.0**以上の地震が発生したと評価した場合



巨大地震の想定震源域



<巨大地震注意>

一部割れケース

ゆっくりすべりケース

(※) 巨大地震警戒に該当する場合は除く

想定震源域内及び想定震源域の海溝軸外側50km程度までの範囲（右上図）において、**Mw7.0以上**の地震が発生したと評価した場合（※）

想定震源域内（右上図）のプレート境界面において、**通常と異なるゆっくりすべり**が発生したと評価した場合



情報が発表された場合でも、後発地震が発生しない場合があることに留意

時間経過

異常な現象発生

想定震源域またはその周辺で
速報的な評価で算出されたM6.8以上の地震、
通常と異なるゆっくりすべり

～30分後

南海トラフ地震臨時情報（調査中）

南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合に発表

「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」において、
発生した異常な現象について評価

最短で2時間後
程度

南海トラフ地震臨時情報 （巨大地震警戒／巨大地震注意／調査終了）

異常な現象についての調査結果を発表

以後、随時

南海トラフ地震関連解説情報

発生した現象の調査結果を発表した後の地震活動や地殻変動の
状況を発表

2024年8月8日の日向灘の地震

観測した
異常な現象

16:42 地震発生
M6.9 (1報)
M7.1 (2報)

南海トラフ沿いの想定震源域
又はその周辺で
速報的な評価で算出された**M6.8以上**
の地震が発生

南海トラフ沿いの想定震源域の
プレート境界面で
通常とは異なる
ゆっくりすべりが
発生した可能性

異常な現象に
対する評価

17:00

「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」を公表

17:30

有識者からなる「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」を開催し
起こった現象を評価

半割れケース
**プレート境界の
Mw 8.0以上
の地震（※1）**

一部割れケース
**Mw 7.0以上
の地震（※2）**

ゆっくりすべり
ケース
**ゆっくりすべり
（※3）**

左の条件を
満たさない
場合

Mw7.0と評価

評価の結果
発表される情報
（最短約2時間後）

南海トラフ地震臨時情報
（巨大地震警戒）

南海トラフ地震臨時情報
（巨大地震注意）

南海トラフ地震臨時情報
（調査終了）

19:15

※1 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてMw8.0以上の地震が発生した場合（半割れケース）

※2 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてMw7.0以上、Mw8.0未満の地震が発生した場合、又は南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界以外や想定震源域の海溝軸外側50km程度までの範囲でMw7.0以上の地震が発生した場合（一部割れケース）

※3 ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合（ゆっくりすべりケース）